

日臨技認定センター お知らせコーナー！

認定指定講習会、認定試験など認定に関するお知らせコーナーです。詳細はホームページをご覧ください。

◇ 認定心電検査技師認定試験、認定一般検査技師認定試験、認定臨床染色体遺伝子検査師試験 終了！

各認定試験が終了し、認定制度審議会・協議会の協議に基づき日臨技中央認定委員会において審議され合格者が決まりました。

- 1) 認定心電検査技師試験：受験者 164 名 合格者 122 名 (合格率 74.4%)
- 2) 認定一般検査技師試験：受験者 98 名 合格者 38 名 (合格率 38.8%)
- 3) 認定臨床染色体遺伝子検査師試験

認定臨床染色体遺伝子検査師については、これまでは染色体分野の認定を実施してきましたが、今年度から遺伝子分野の認定を加え、実施致しました。

- ◆ 染色体分野 受験者 2 名 合格者 0 名
- ◆ 遺伝子分野 受験者 4 名 合格者 3 名 (合格率 75%)

◇ 認定一般検査技師認定資格更新 指定講習会

- 1) 主 催：京都府臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 2 月 13 日(土)9:00
会 場：キャンパスプラザ京都
- 2) 主 催：近畿臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 2 月 14 日(日)9:00
会 場：アヤハレークサイドホテル
- 3) 主 催：熊本県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 2 月 14 日(日)9:00
会 場：熊本保健科学大学
- 4) 主 催：東京都臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 2 月 20 日(土)15:00・21 日(日)9:30
会 場：文京学院大学保健医療技術学部
- 5) 主 催：岡山県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 2 月 28 日(日)9:00
会 場：川崎医療短期大学
- 6) 主 催：佐賀県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 3 月 7 日(日)9:30
会 場：佐賀社会保険病院
- 7) 主 催：埼玉県臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 3 月 13 日(土)10:00
会 場：北浦和カルタスホール
- 8) 主 催：中部地区臨床検査技師会
日 時：平成 22 年 3 月 20 日(土)11:30・21 日(日)9:20
会 場：三重大学医学部
- 9) 主 催：和歌山県臨床衛生検査技師会
日 時：平成 22 年 5 月 21 日(金)16:00
会 場：神戸国際会議場 国際会議室

研修会のお知らせ！

◇ 日臨技 NST 研修会

日 時：平成 22 年 3 月 7 日(日)

会 場：チサンホテル 心齋橋

〒542-0081 大阪府大阪市中央区南船場 2-4-10

TEL:06-6263-1511 / FAX:06-6263-1530

内 容： 詳しい内容は、医学検査 1 月号とホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

12 月号の案内では、実践を兼ねたロールプレイを行うとお知らせ致しましたが、今回は講義のみの研修会となりますこととお詫びいたします。

NST(栄養療法)は、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師など多くの専門職種との協力により多くの施設で取り組まれています。栄養状態を把握する情報として、臨床検査データは欠かせない事柄は出来ません。この研修会では、検査技師として知っておくべき知識、技術の研鑽の向上と NST 活動を通じて、検査技師が診療へ参加するために必要な対処、対応法を解説していただきます。

◇ 日臨技 CRC 研修会

日 時：平成 22 年 3 月 20 日(土)~22 日(月)

会 場：日本臨床検査技師会館

内 容： 詳しい内容は、医学検査 1 月号とホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

本研修は、臨床試験の意義と CRC の役割を理解し、医療の向上に努める人材を育成するために開催いたします。内容は日本臨床薬理学会の「CRC のための研修ガイドライン」に準じ、特に臨床検査技師が習得する機会の少ない項目を重視しています。

会員優先ですが、定員に満たないときは、他職種の方も参加可能です。

編集室

◇ 「命」をまるごと受け止めて・・・これは、旭山動物園<北海道>のテーマで、人間と動物の枠を超えて繰り返される“生”と“死”を見つめ続けて来た、いわば永遠のテーマです。冬場には運動量が減り、ペンギンさんの太り気味になるのを防ぐため 500m ほど散歩をさせて餌を与えるそうです。人間さんも駅から家までの間・・・歩きましょう！

◇ ここには、特別珍しい動物が居るわけでもないですが、人を引き付ける魅力があるようです。1996 年は 26 万人のお客さんが 2006 年には 300 万人に増えたそうです。理由は何でしょうか？動物の生き方を自然な形で見ることで、人間として自分たちの本来の姿を見ることに共感したからでしょう。人間は“檻の中の動物”を見ますが、動物からは“檻の中の人間”を見ているのです。

◇ 昨年 7 月に 20 年の歳月の末、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」が完成しました。ステーションとしては、本年後半には完成するといわれています。その中では、宇宙医学の実験が始まっています。ここには、莫大な国家予算が使われています。単なる人間の好奇心や夢のために莫大な国家予算を使っているわけではありません。動物園から宇宙までに“人間の進化の過程”を探究することが重要ではないでしょうか？

◇ いつも、自分たちは見られているということを感じましょう・・・冬のペンギンさんのように太らないためにも・・・ 【高田】

